



平成27年度 初任者研修 課題等研修Ⅰ【小・中学校】
新規採用養護教諭研修 課題等研修

平成27年7月27日（月）実施

目的

体験活動及び児童生徒が豊かな人間関係を確立していくことのできる体験学習の在り方について学ぶことを通して、人間関係づくりの基本的な考え方を理解し、児童生徒が、集団の中で豊かな人間関係を確立していくことのできる態度や能力を身に付けるための視点を養う。

【実践発表】「介良中が取り組む人間関係づくり」

実践発表者：高知市立介良中学校 山崎 るか 教諭

【取組事例】

『黄金の3日間から始める人間関係づくり』

入学3日目にあったかプログラムデーを設け、半日間1年生全員を対象に仲間づくりを行う。

『構成的グループエンカウンター』

特別活動の年間計画に構成的グループエンカウンターを盛り込む。

『ハートフルウィーク』

(1) 5月 学級担任と生徒とで二者面談を行う。

(2) 11月 生徒に全教職員の中から面談希望のアンケートをとり、二者面談を行う。

『ハートフルクラス』

全教員が道徳授業の題名と内容項目を授業者の名前をふせて提示する。生徒は希望する内容を選択し、クラスを離れて授業を受ける。

【目的】

『ハートフルウィーク』

(1) 学年・学期のスタートを迎え、担任との良好な関係を築く。

『ハートフルクラス』

(2) 全教職員が生徒支援に関与している姿勢を生徒に伝える。

【講義・演習】「人間関係づくり」

講師：高知県心の教育センター 濱田 実智雄 指導主事・福井 恵子 指導主事

【人間関係づくりの必要性】

希薄な人間関係・固定化された人間関係・人間関係の規制緩和

人とのかわりに課題がある子どもたちの増加

ソーシャルスキルトレーニング
(人付き合いのコツ)

構成的グループエンカウンター
心の冒険教育など

ルールとふれあい（リレーション）のある集団に

【学校における人間関係づくりの手法】

- ・ 構成的グループエンカウンター (SGE)
- ・ ソーシャルスキル・トレーニング (SST)
- ・ プロジェクトアドベンチャー (PA)
※ 心の冒険教育
- ・ 対人関係ゲーム
- ・ グループワークトレーニング (GWT)
- ・ ピアサポート

構成的グループエンカウンター

エクササイズ シェアリング

自己開示



『目的』

- ・ ふれあい
- ・ 自他発見

心の冒険教育

(プロジェクトアドベンチャー：PA)

『目的』

- ・ 仲間とともに活動にチャレンジするなかで、信頼関係や協力し合える温かい人間関係を築く。
- ・ 個人の内的成長やグループの成長をめざす。

学級活動で取り組む場合の留意点

【構成的グループエンカウンター・心の冒険教育など】

インストラクション ⇒ エクササイズ ⇒ シェアリング

モデリング
ねらい
ルール

活動

ふりかえり

活動することが目的ではなく、エクササイズのねらいや内容・やり方等を確認し、エクササイズを通して、気付いたり感じたりしたことを共有し合うことが大切である。ふりかえりは活動からの気付きや学びを整理し、次の活動や日常生活へつなぐ重要な役割がある。



自己決定
集団決定

何をどのように改善し、
努力するのか

【受講者の感想】

- ・ 構成的グループ・エンカウンターと心の冒険教育について、演習を踏まえ、多くの実践例を知ることができた。それぞれのアクティビティの特性を知り、目的やめあてにあったものを選ぶことが重要であることを学んだ。また、学級の実態を十分に把握しておくことも重要であり、参加できない子どもへの配慮なども知識として、しっかりもっておきたい。

平成27年度 4年経験者研修 課題等研修Ⅱ（人権教育）

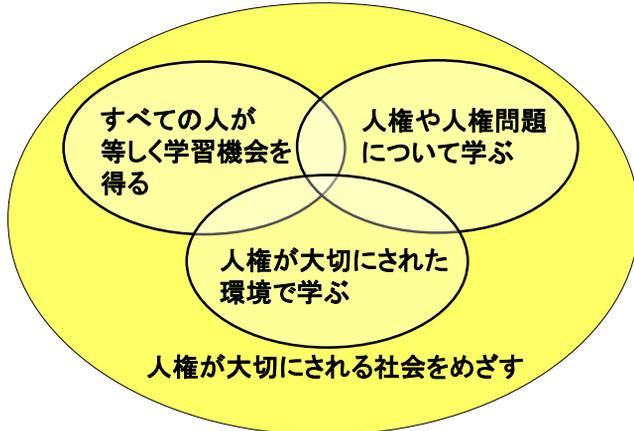
平成27年8月4日（火）実施

対象：高知市立小・中・特別支援学校4年経験者
講師： 人権・こども支援課 人権教育指導員

概要 近年の人権をめぐる国際的な動向をふまえ、教育活動全体を通じて人権教育を推進していくための留意点を知り、学習指導要領の趣旨を生かした人権学習の全体計画・年間指導計画・指導案の作成について学ぶ。

研修Ⅰ 「教育活動全体を通じた人権教育の推進」

人権教育の四つの視点



人権教育で付けたい三つの力



教える教職員自身の姿、人権感覚はどうか？

子どもやまわりを傷つける言動はないか、チェックしてみよう！
【はい…○、どちらとも言えない…△、いいえ…×】

- 授業終了や下校時間を守っていますか？
- 集金を忘れている子どもの名前を黒板に書くことはありませんか？
- 「また、おまえか」「そんなこともできないのか」「〇〇に帰りなさい」といった、子どもを傷つける言い方をしていませんか？
- 教職員間で情報交換を行う際、トラブルや問題行動だけでなく、良い行動も知らせていますか？
- 職場で、人権への配慮に欠けた発言や指導があったときには、指摘するなどの行動がとれますか？
- 噂話や一部だけを見ての決めつけた見方をしていませんか？
- 体罰は人権侵害であるという認識を持っていますか？ 等…

研修Ⅱ「人権が尊重される授業づくり」

◎ 人権が尊重された教室像と人権学習(イメージ)

人権が大切にされた環境・機会としての教室

人権が尊重される授業

普遍的な視点
からのアプローチ

個別的な視点
からのアプローチ

自分の人権を守り、他者の人権を守るための
実践行動

◎ 人権学習を計画するにあたって

教科などの学習に、人権教育の視点・観点（知識的側面・技能的側面・価値的・態度的側面）を組み入れていくことが求められている。

一つの人権課題について学ぶ際にも、複数の教科などの学習と関連付けた「人権学習プログラム」として、計画するスタイルも提起されている。

- 「人権学習資料集」は、高知県教育センターHPからダウンロードして利用できます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310308/>

<DVD紹介>

シリーズ 映像で見る人権の歴史DVD

第1巻 東山文化を支えてきた「差別された人々」

第2巻 江戸時代の身分制度と差別された人々

東映株式会社

※ 興味のある方は、人権・こども支援課までご連絡ください。

研修Ⅲ「人権学習指導案作成について」

指導案に人権教育の視点と、人権教育を通じて育てたい資質・能力（知識的側面、価値的・態度的側面、技術的側面）を付記し、人権教育の指導の観点を確認にする。（作成形式例あり）

【受講者の感想】

- ・ 今まで人権学習の学習指導案を作成したことがなかったので、今回学習指導案の形式や作成にあたっての視点を細かく教えていただいたのは大変参考になった。
- ・ チェックシートで私は×、△がついていて、無意識に人権を軽く捉えてしまっていることに気付かされた。
- ・ ビデオ学習がとても分かりやすく、自校でも使用したいと思った。